

ローラブル太陽電池で、好きな場所で発電できる社会へ
『技術のあそび場「NIWA」』の利用企業、第一弾は東大発スタートアップSOEL社



「技術」を「社会技術」へと昇華させることを目指すConjunct合同会社（ヨミ：コンジャンクト、本社：東京都渋谷区渋谷、代表社員：高宮寿美、以下Conjunct）が運営する技術の社会実装に向けた試行錯誤をする場『技術のあそび場「NIWA」*』にて利用企業が決定。東大発スタートアップ株式会社SOEL（ヨミ：ソエル、本社：千葉県柏市、代表取締役社長：高林 明治 以下、SOEL）が自社が開発・所有するローラブル太陽電池の実用化に向けた実験をスタートします。

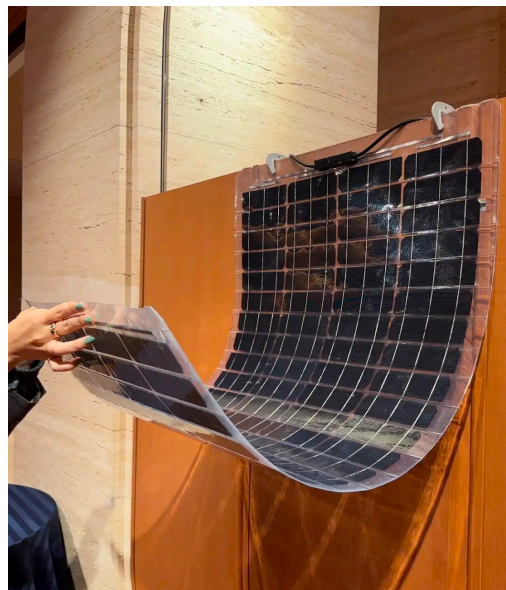
*技術のあそび場「NIWA」については、こちらの[リリース](#)を参照ください。

■実験詳細 | 東大発スタートアップSOEL社「ローラブル太陽電池」

～手軽に持ち運べるローラブル式の太陽電池で、好きな場所で発電できる社会へ～

SOEL社開発「ローラブル太陽電池」

従来の太陽電池の素材シリコンを活用することで耐久性や発電量も担保できるプロダクトを開発。樹脂の構造を工夫することで「曲がる・軽い・持ち運べる」形状を作り出すことに成功し、現在特許も出願中。



←手で簡単に
曲げることが出来る

まずは以下の項目の検証を進めます。

- ・風の影響なども含めて運用が可能なのか
- ・どのくらいの時間で、どの程度発電できるのか

人作業で設置可能にするための簡易なアタッチメントの検証、オーニングの設計・開発なども行う予定です。

トレーラーハウスなどに太陽電池を装着し、災害時にも活用できる移動式オフグリッドハウスの開発なども増えています。しかし、パネルを装着できる部分全てに太陽光パネルを設置しても、十分な発電量を得られないという課題も出てきています。不要なときは閉まっておき、必要なときに広げて発電できるローラブル太陽電池の実用化を進めることで、こうした課題の解決にも役立つと考えています。



NWAに設定したローラブル太陽電池の様子

■今後の展開

SOEL社のローラブル太陽電池の実用化に向け、必要な実証実験を設計・実行していきます。

また、技術のあそび場「NIWA」の利用企業・団体を引き続き募集し、エネルギー技術の社会実装に向けた実証実験を増やしていきます。

■Conjunct合同会社について | 「技術」を「社会技術」へ。技術と社会をつなげる。

「技術」は、人々の暮らしを根本から大きく変える力がある分野。まだ社会に還元されていない技術は数多くあります。そうした技術を目利きし、社会実装への道筋をつくっていくべく、技術開拓、PoC・プロトタイプ開発支援を行っています。現在は、「エネルギー分野」の技術に注力し事業を展開しています。

■代表社員 高宮 寿美プロフィール



1981年生まれ。東京大学工学系研究科化学システム工学修士課程修了。

幼少期に「理不尽・不平等な世界」が存在することを目の当たりにしたことをキッカケに、社会を変えていきたいという想いが芽生える。現在、自分の強みとこれまでの経験を生かしながら、自分が解決したいと感じる社会課題に取り組むための事業を立ち上げ中。

新卒で、富士フィルム株式会社に入社。半導体プロセス材料の研究・商品開発に従事後、同技術・製品に関する技術営業・事業戦略・営業戦略立案を担当。その後、コンサルティング業界に転職し、新規事業開発や企業間技術連携支援を経験。2018年からはデロイトトーマツコンサルティングにて、メーカーの営業から開発プロセスの改革支援に多く携わる。

2020年にConjunct合同会社を設立。

[関連する歴任] 2024年1月まで：(株) SOEL 代表取締役社長

2023年12月まで：東京大学大学院新領域創成科学研究科 特任研究員

◆本件に関する問い合わせ先

担当：代表社員 高宮寿美 mail：hello@conjunct.earth